様式29

 火薬庫工事設計明細書（移動式２級火薬庫）

1. 火薬庫の位置及び付近の状況は、別図による。
2. 保安物件との距離
3. 最大貯蔵量（規則第20条第２項の規定を計算式で明示すること。）

 （ ） （ ） （ ）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  爆薬庫 | 40 | ＋ | 　80 |  ＋ |  |  ＋ 　　 ≒（ ）≦１ |

 （ ） （ ） （ ）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  火工品庫 | 40,000,000  | ＋ |  |  ＋ |  |  ＋ 　 ≒（ ）≦１ |

 (2) 爆薬換算による貯蔵量（規則第１条の６の規定を計算式で明示すること。）

 （ ） （ ） （ ）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  爆薬庫 | 　１ | ＋ | 　２ |  ＋ |  |  ＋ 　　 ≒（ ）ﾄﾝ　 |

 （ ） （ ） （ ）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  火工品庫 | 1,000,000 | ＋ |  |  ＋ |  |  ＋ 　 ≒（ ）ﾄﾝ |

 (3) 爆薬庫又は火工品庫から保安物件までの保安距離は、下記の事項及び付近の状況図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  　保安物件の種類 　（法定距離） |  　　　　爆薬庫 |  　　　　火工品庫 |
|  保安物件名 |  方角及び距離 |  保安物件名 |  方角及び距離 |
|  第　 １ 　種 （ 　ｍ） |  |  |  |  |
|  第　 ２ 　種 （ 　 　ｍ） |  |  |  |  |
|  第　 ３ 　種 （ 　 　ｍ） |  |  |  |  |
|  第　 ４ 　種 （ 　 　ｍ） |  |  |  |  |

 (注) 保安物件が当該事業用施設である場合は、当該保安物件にその旨を併記すること。

1. 火薬庫の構造及び設備

　(1) 火薬庫、防火設備及び警戒設備並びに警鳴装置等の全体設置計画は、火薬庫施設設置図による。

 (2) 火薬庫相互間距離

 爆薬庫 （ ）ﾄﾝ （ ）ｍ 火工品庫 （ ）ﾄﾝ （ ）ｍ

 (3) 火薬庫の構造等は、下記の事項並びに立体図、平面図、側面図、断面図、配筋図、基礎図及び小屋組図、建具図、その他建築構造各部の名称説明図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  　項　　　　 　目 |  爆薬庫 |  火工品庫 |
|  軽量型鋼系ﾌﾟﾚﾊﾌﾞの形式 |  ﾌﾚｰﾑﾊﾟﾈﾙ ･ 耐力ﾊﾟﾈﾙ壁形 ･ ﾎﾞｯｸｽ形 |  ﾌﾚｰﾑﾊﾟﾈﾙ ･ 耐力ﾊﾟﾈﾙ壁形 ･ ﾎﾞｯｸｽ形 |
|  基 礎 |  周囲 の布 基礎 |  構 造　　 |  鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ・ 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ |  鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ・ 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ |
|  ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ |  ( )ヶ所　直径( )mm |  ( )ヶ所　直径( )mm |
|  通気孔　　　　　　　　 |  金網張・パンチングメタル 鉄棒 (直径( )mm･間隔( )mm) |  金網張・パンチングメタル 鉄棒 (直径( )mm･間隔( )mm) |
|  内部のつか石 |  別図のとおり |  別図のとおり |
|  骨 組 |  土台のｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ 柱･梁桁･合掌もや等 |  ( )ヶ所　直径( )mm |  ( )ヶ所　直径( )mm |
|  軽量型綱とし､外部にﾎﾞﾙﾄ､ﾅｯﾄ類を表さないよう施行する｡ |  軽量型綱とし､外部にﾎﾞﾙﾄ､ﾅｯﾄ類を表さないよう施行する｡ |
|  床の板張り　　　　 |  厚さ( )mm 鉄部を表さない。 |  厚さ( )mm 鉄部を表さない。 |
|  外 壁  妻 壁 共  | 外部 |  構　　造　　 |  鉄板張り・耐力ﾊﾟﾈﾙ・( ) |  鉄板張り・耐力ﾊﾟﾈﾙ・( ) |
|  厚　　さ |  ( )mm |  ( )mm |
|  固定方法 |  溶接・ボルト締め・( ) |  溶接・ボルト締め・( ) |
| 内部 |  構　　造　 |  耐水ベニヤ板張・( ) |  耐水ベニヤ板張・( ) |
|  厚　　さ |  ( )mm |  ( )mm |
|  固定方法 |  釘打・接着剤・( ) |  釘打・接着剤・( ) |
|  内外部の空間　　 |  断熱材( ) |  断熱材( ) |
|  換気孔　　　　 |  ( )ヶ所　金網張・ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ |  ( )ヶ所　金網張・ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ |
|  内　　　壁 |  ベニヤ板張 |  ベニヤ板張 |
|  屋 根  | 外部 |  構　　造 |  鉄板張り・平スレート葺 |  鉄板張り・平スレート葺 |
|  厚　　さ　　 |  ( )mm |  ( )mm |
|  取付方法　 |  釘打、溶接・( ) |  釘打、溶接・( ) |
|  内　　部 |  耐水ベニヤ板張・厚さ( )mm |  耐水ベニヤ板張・厚さ( )mm |
|  屋根パネル |  耐水ベニヤ板張・耐力バネル |  耐水ベニヤ板張・耐力バネル |
|  小屋組　　　 |  たる木、野地板は木製とする。 |  たる木、野地板は木製とする。 |
|  盗難 防止 |  取付場所 |  屋根裏・天井裏 |  屋根裏・天井裏 |
|  金　　網 |  太さ( )番線・網目( )mm |  太さ( )番線・網目( )mm |
|  固定方法 |  ステープル止め |  ステープル止め |
|  天 井 |  材　　料 |  ベニヤ板張 |  ベニヤ板張 |
|  換気孔 |  ( )ヶ所　金網張 |  ( )ヶ所　金網張 |
|  出入口の枠の固定方法 |  |  |
|  外 扉  耐 火 扉  |  本体 角 蝶 番 錠 |  構　　造 |  片開・鉄板張り 厚さ( )mm |  片開・鉄板張り 厚さ( )mm |
|  寸　　法 |  高( )cm 幅( )cm 厚( )mm |  高( )cm 幅( )cm 厚( )mm |
|  枠の覆い |  ３周とも( )mm |  ３周とも( )mm |
|  長さ・数 |  ( )mm・( )ヶ所 |  ( )mm・( )ヶ所 |
|  取付方法 |  電気溶接・( ) |  電気溶接・( ) |
|  種　　類 |  ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠・( 　　　　　 ) |  ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠・( 　　　　　 ) |
|  取付数 |  鍵ちがいの錠 ( )ヶ所 |  鍵ちがいの錠 ( )ヶ所 |
|  ロット棒 |  |  |
|  内 扉 |  構　　造 |  １本引、 　　 本製板戸 |  １本引、 　　 本製板戸 |
|  寸　　法 |  高( )cm 幅( )cm 厚( )mm |  高( )cm 幅( )cm 厚( )mm |
|  ﾚｰﾙ･戸車･引手の使用材料 |  |  |
|  錠 |  ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締引戸用鎌錠・( ) |  ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締引戸用鎌錠・( ) |

 (4) 警鳴装置の構造等は、下記の事項並びに電気配線図、仕様書及び設置図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  項　 　　 　目 |  警鳴を発する装置 |  警報を発する装置 |
|  メーカー及び型式 |  |  |
|  設置場所 |  火薬庫の外壁・付近（ ） |  火薬庫の外壁・付近（ ） |
|  本 体 |  外 函 |  鉄板製、厚さ( )mm |  鉄板製、厚さ( )mm |
|  錠の種類 |  |  |
|  開口 部の 防護 措置 |  雨･雪の進入 |  |  |
|  虫類の進入 |  |  |
|  回路の外部接触 |  |  |
|  警報部の外部接触 |  |  |
|  警報 器 |  種類 |  ｻｲﾚﾝ ･ ﾌﾞｻﾞｰ ･ ｽﾋﾟｰｶｰ ･ ﾍﾞﾙ |  ｻｲﾚﾝ ･ ﾌﾞｻﾞｰ ･ ｽﾋﾟｰｶｰ ･ ﾍﾞﾙ |
|  警報等の始動及び音量 |  扉（開放・振動）( )ﾃﾞｼﾍﾞﾙ |  扉（開放・振動）( )ﾃﾞｼﾍﾞﾙ |
|  回 路 |  庫内電流 |  爆薬庫( )A 火工品庫( )mA |  |
|  切断対策 |  警鳴を発する・金属管で保護 |  警鳴を発する・金属管で保護 |
|  保安装置 |  避雷器・ヒューズ( )mA |  避雷器・ヒューズ( )mA |
|  テスト装置 |  スイッチ式 |  スイッチ式 |
|  電 源 |  電池(電圧の消耗状況) |  メーター・表示灯 |  メーター・表示灯 |
|  交流(停電時の措置) |  予備電池に自動切り替え |  予備電池に自動切り替え |

 (5) 防火設備及び警戒設備は、下記事項並びに施設設置図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  　項　　　　 　目 |  爆薬庫 |  火工品庫 |
|  防火 設備 |  防火用空地 |  幅( )ｍ |  幅( )ｍ |
|  貯水槽 |  ( )ﾄﾝ ( )槽 |  ( )ﾄﾝ ( )槽 |
|  警戒 設備 |  警戒札の種類 |  |  |
|  夜間点灯装置 |  有(施工図及び設置図による)・無 |  有(施工図及び設置図による)・無 |

４．貯蔵上の取り扱い

 (1) 最高最低寒暖計を爆薬庫内に設置する。

 (2) 火薬類の貯蔵は、下記の事項及び別図による。

　 火薬類の最大貯蔵量（外装の寸法による計算式を明示すること。）

 爆薬庫

 火工品庫

 (3) その他の取扱いは、火薬類取締法施行規則第２１条の規定による。

５．年間貯蔵予定量

 爆薬庫（ ）トン ＋ 火工品庫（ ）トン ＝ （ ）トン

６．火薬類取扱保安責任者の選任予定（保安手帳持参）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  区　　　　分 |  氏　名(年齢) | 　免状の種類 |  保安手帳番号 |
|  取扱保安責任者 |  　　 ( ) |  ( )種取扱免状 |  |
|  同代理者 |  　　 ( ) |  ( )種取扱免状 |  |

 選任届書は、火薬庫完成検査申請書と同時に提出します。

７．火薬庫竣工予定

 　　　　　年 月 旬